(別紙4(2))

事業所名 グループホーム宝南の家

目標達成計画

作成日: 令和 1 年 11 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具 体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	48	長期に生活されている利用者が少しずつADLが低下したり認知症が進んでいきできることが少なくなってきていて活動の幅が限定されている。取り組みも特定の人に対応する傾向もある。	かかわりの中で本人の埋もれている力に気 づき、それが生活の中で輝くように支援す る。	職員が利用者の担当を決めて、できる力が何かをアセスメントし、それをチームで共有し、その中で本人らしさが生きるように、様々な取り組みとして広げていく。	12ヶ月
2	1	理念に基づいた支援を行動指針によってわかり やすくし振り返りに活用できるように進めてきた が、職員の立ち位置が職員目線であったりチー ムでの関わりより個人の価値観が影響するなど 実際の支援に於いて浸透がされていないように 感じられた。	チームワークを大切にして理念に基づいた 支援を目指す。	1人1人がまめに確認して意識付けができるように、シートを準備し、定期的に自己評価したり、 職員間で振り返りをする機会を持ちながら理念 に基づいた支援につなげる。	12ヶ月
3	13	福祉の専門職として自分の行った実践を系統 立てて語ることができる力が養われず、行き当 たりばったりの後追いの支援になっているところ がある。	介護のプロとしてプライドをもって支援をおこなうことができる。	毎月行う勉強会や、ケース会議、外部研修などに参加し、時に職員がチューターとなって発信できる力を育てていく。今後は資格取得が本人たちのプライドに繋がるようにバックアップしていきたい。	12ヶ月
4					ヶ月
5		日の棚については、白コ部体質日のル。を記まして			ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。